



レクチャーコンサート

100年前の異文化受容 浅草オペラという娯楽

Asakusa Opera, 1917–1923: Variety Shows that Made Western Music Popular in Japan

2017年7月21日(金) 19時開演 (18時30分開場)

Fri. 21 July 2017, 7:00 pm (Doors open at 6:30 pm)

東京大学教養学部 駒場コミュニケーションプラザ 北館2階 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Music Practice Room, Komaba Communication Plaza North Bld. 2F

東京大学の学生・教職員、および東大駒場友の会会員・会友限定
予約不要 先着順 入場無料 定員120名 全席自由
演奏会当日は、学生証・職員証・会員証・会友証をご携帯ください。

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会
共催：東大駒場友の会

<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/index.html> tel 03-5454-6139 (駒場博物館)

レクチャー

「浅草オペラとは何だったのか」(大西由紀)

小林愛雄訳詞による日本語歌唱

Songs with Japanese lyrics translated by KOBAYASHI Aiyū (1881–1945)

- ・プランケット『古城の鐘』より「波を蹴り」
Robert Planquette (1848–1903): “Chanson du mousse” from *Les cloches de Corneville*
- ・ルコック『マダムンゴの娘』より「女学校時代追想の唄」
Charles Lecocq (1832–1918):
“Jours fortunés de notre enfance” from *La fille de madame Angot*
- ・オッフェンバック『天国と地獄』より「思ひ出の唄」
Jacques Offenbach (1819–1880):
“Als ich einst Prinz war von Arkadien” from *Orpheus in der Unterwelt*

レクチャー

「浅草オペラの上演の実態——演奏家の立場から」(榊原徹)

スッペ『ボッカチオ』より (小林愛雄訳詞、改訳者未詳)

Franz von Suppé (1819–1895): *Boccaccio* (excerpts)

— with Japanese lyrics translated by KOBAYASHI Aiyū and revised by unknown

- ・「伊太利亜わが祖国」“Flotte Studiosen”
- ・「快活な学生」“Ich sehe einen jungen Mann dort stehn”
- ・「恋は優しい野辺の花よ」“Hab’ ich nur deine Liebe”
- ・「わしゃ貴族だよ」“Um des Fürsten Zorn zu meiden”
- ・「ベアトリ姉ちゃん」“Holde Schöne, hör’ diese Töne”

レクチャー

「川端康成もハマった！ 浅草オペラのアイドルたち」(笹山敬輔)

浅草で親しまれたメロディを原語歌唱で

Asakusa’s most beloved melodies — sung in their original languages

- ・ヴェルディ『リゴレット』より「女心の歌」
Giuseppe Verdi (1813–1901): “La donna è mobile” from *Rigoletto*
- ・ビゼー『カルメン』より「ハバネラ」
Georges Bizet (1838–1875): “L’amour est un oiseau rebelle” from *Carmen*
- ・ヴェルディ『椿姫』より「乾杯の歌」
Giuseppe Verdi: “Libiamo ne’ lieti calici” from *La traviata*
- ・オッフェンバック『ホフマン物語』より「舟歌」
Jacques Offenbach: “Belle nuit, ô nuit d’amour” from *Les contes d’Hoffmann*

レクチャー

「浅草オペラの名プロデューサー、佐々紅華」(榊原徹)

佐々紅華『カフェーの夜』より

SASSA Kōka (1886–1961): *A Night at a Café* (excerpts)

- ・「おてくさんの歌」(益田太郎冠者原作詞作曲)
- ・「そんな心と知らないで」(益田太郎冠者原作詞作曲)
- ・「吞兵衛の歌」
- ・「コロッケの歌」(益田太郎冠者原作詞作曲)

写真：根岸歌劇団『ボッカチオ』(1923年3月)上演時の集合写真か。小針侑起氏所蔵。

演奏者・登壇者プロフィール



【ソプラノ】竹内 直美

TAKEUCHI Naomi

小諸高等学校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。日本声楽家協会修了。日本声楽アカデミー会員。2008年イタリアにて「アレサンドロ・カラマイ マスタークラス」を受講しイタリア政府認定修了証明書を取得。同年、自身初めてのソロリサイタルを東京・長野で開催し好評を博す。女声アンサンブル「Jソロイスツ」に所属し、童謡や唱歌、叙情歌を積極的に演奏している。



【メゾソプラノ】栗田 真帆

KURITA Maho

台東区出身。東京芸術大学声楽科卒業。聖徳大学大学院博士前期課程修了。同大学院研究生修了。これまでに「ヘンゼルとグレーテル」や「ラ・チェネレントラ」のタイトルロールでオペラに出演、ヘンデル「メサイア」やベートーベン「第九」などのソロを務める。皇宮警察音楽隊創設60周年記念演奏会では両陛下御臨席のもと歌唱を披露。第3回下町たいとう親善大使。聖徳大学音楽学部講師。日本声楽家協会研究員。日本声楽アカデミー会員。



【テノール】三村 卓也

MITSUMURA Takuya

国立音楽大学声楽科卒業。第9回、10回と若い音楽家のためのコンサートで準グランプリ、第43回日伊コンクール入選、第10回多摩フレッシュコンクール3位。イタリアはヴェローナに毎年渡り研鑽を積みA. Pianezzora、M. Barbaciniに師事。オペラでは「こうもり」「椿姫」「放蕩者のなりゆき」「シンデレラ」「青ひげ」などに出演。邦人オペラでは三木稔「ワカヒメ」「君を呼ぶ声」などに出演。東京室内歌劇場会員、東京オペラプロデュースメンバー。



【ピアノ】浅見 陽子

ASAMI Yoko

桐朋学園大学、東京芸術大学別科ピアノ専攻卒業。米・奥・仏・独のアカデミーにて研鑽を積む。大学在学中にソロデビュー、数々のコンクールに入賞。'06年東京文化会館大ホールにてサン＝サーンス：ピアノ協奏曲第2番を演奏し好評を博す。'13年ベートーヴェン三大ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」のCDをリリース。現在ソロをはじめ、声楽、室内楽、演劇の共演ピアニストとして数々の舞台・録音に携わっている。日本声楽家協会コレペティトル科在籍。



【構成・レクチャー】榊原 徹

SAKAKIBARA Toru

東京芸術大学音楽学部卒業後に渡独。ベルリン在住半年後に歴史的な壁崩壊に出会う。演奏活動と共に、観光ガイド、役者、ラジオレポーターなど多数経験し帰国。クラシック音楽の指揮活動と共に、19世紀ヨーロッパの大衆音楽、オペレッタ、日本の明治、大正、昭和期の流行歌に精通し数々の公演をプロデュースする。現在は洋楽邦楽問わず、指揮とプロデュースに関わる。



【レクチャー】笹山 敬輔

SASAYAMA Keisuke

1979年、富山県生まれ。演劇研究者。筑波大学大学院博士課程人文社会科学科研究科修了。博士(文学)。著書に『演技術の日本近代』(森話社)、『幻の近代アイドル史——明治・大正・昭和の大衆芸能盛衰記』(彩流社)、『昭和芸人七人の最期』(文春文庫)。

【企画・レクチャー】大西 由紀 ONISHI Yuki

東京大学大学院総合文化研究科助教。博士(学術)(東京大学)。専門は比較文学・翻訳論。明治・大正期の日本で、西洋のオペラの影響を受けて書かれた音楽劇台本に注目して研究を行っている。論文に「浅草の翻訳歌劇の歌詞——ベアトリツェがベアトリ姉ちゃんになるまで」(杉山千鶴、中野正昭編『浅草オペラ 舞台芸術と娯楽の近代』所収、森話社、2017年)など。